

## 多治見高校自然科学コース 平成30年度 第一回出前講座

自然科学コースでは、生徒が自然科学の面白さを体感し、教養を身につけるとともにキャリア選択の参考にするため、大学の研究者の方に講演していただき出前講座を実施しています。

第一回の出前講座は7月9日（月）に、岐阜大学大学院自然科学技術研究科の修士課程の大学院生、後藤可南子さんと永田麻純さんのお二人にお越しいただきました。

後藤さんには「アカメガシワの生長と化学・物理・生物的防御形質の時空間変化」について、永田さんには「パワーアシスト装置の操作性改善に関する研究」についてお話をいただきました。また、お二人には、ご自身が高校生の時にどのような進路を考えて大学選びをしたのか、大学に入ってからどのような進路希望をもったのか等の実体験もお話ししていただき、多くの生徒がとても参考になったと話していました。



後藤さんの講演



永田さんの講演

お二人とも研究のお話、大学院生活のお話をとても楽しそうにされていて、充実した生活をお過ごしたということが伝わってきました。そんなお二人に共通していたことは、「自分が何をやりたいか真剣に考えて（途中で変わる可能性もあるけれど）そのやりたいことを達成できるように自分を信じて頑張ってきた」ということでした。大学受験を控える3年生だけでなく、2年生も勉強への意欲が高まったと答える生徒が多く、今後に期待させられるものでした。

### <生徒の感想>

大学は自分がやりたいと思うことに専門的に取り組めるのですごく楽しそうだと思います。高校では学ぶ教科が決まっているけれど、大学では学ぶ教科を自分で選択することができるので、自分の将来の夢を叶えるための第一歩になると思いました。

後藤さんのお話では、身近な生物の観察から「どうしてそうなっているのか」「どういう過程で成立しているのか」など小さな疑問から研究が始まり、そこからどんどん発展させられていました。これは私には考えられないことすごいなあと思いました。永田さんのお話では、まず、工学部は男子が入るイメージがありましたが、女の人もいて驚きました。また、永田さんはリケジョを増やす活動にも参加されていて活発ですごいなあと思いました。また、同じ学科の中にも種類が全然違う研究をしていることがあることも知れました。（3年女）

今回の講座では具体的な研究内容をたくさん聞くことができよかったです。私には生物分野のお話が心に残りました。後藤さんの「自分が最先端になる」ということにはすごく憧れました。自分も生物の生態研究をしたいと思っているので、今回のお話は非常に参考になりました。また、現役の大学院生の方だけあってプレゼンテーションがすごく上手だと思いました。研究の成果を上手に発表することも重要だと思いました。私自身、今回の講座を受けて進路のことをもう少し調べなければいけないと思いました。(3年男)

後藤さんのお話を聞いて研究は面白いものだと分かりました。お話を聞く前までは、研究は面倒くさいものであまりしたくないと考えていました。しかし、後藤さんが研究をしていた蜂の巣に寄生する蛾の実験を見て、すごく興味が湧きました。今では大学へ行って研究をしたいと思っています。

私は生物選択で物理にはあまり興味がありませんが、永田さんのお話を聞いて物理学は人を助けることにもつながることに驚きました。私は物理の計算があまり好きではなく、今回の講座でも $\theta$ が出てきたとき、やはり私には向いていないと思ってしまいました。ところが、ジェットコースターにも物理学が関係するというお話があり、ジェットコースターだったら作ってみたいなと思いました。

大学生活は誰に聞いてもとても楽しいと答えられるので、すごくいきたい気持ちがあります。私は大学へ行ってたくさん勉強して、たくさんアルバイトをして、たくさん遊びたいです。お二人の話を聞いて大学へ行くためには今が本当に大切だということも分かりました。(2年女)

担当 自然科学コース主任  
佐賀達矢